

月日	/	/	/	/	/ ~ /	/	
経過	入院日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目～術後6日目	
達成目標	手術の準備ができる		安静が保てる 術後の痛みがなく、合併症が起きない			手術した側の安静が保て、清潔が保てる	退院後の生活の注意点がわかる
安静度	院内自由です	・点滴中でも歩行可能ですので手術室へは歩いて入室します	・術後はベッドで病室に戻ってきます ・術後2時間からトイレ歩行可能です(それまでは看護師がベッド上でお手伝いします) ・歩ける様になってからもできるだけ安静にしてください ・最初に歩くときは看護師を呼んで下さい ・手のしびれ、安静による腰の痛みが出る場合がありますので遠慮なく看護師に声をかけてください ・胸部や背部の腫瘍を摘出した場合は、手術した側の腕を体幹部へ胸帯で固定します ※動かさないで下さい	・制限はありませんができるだけ安静にしてください 	・院内自由です		
清潔	・入浴できます	・入浴できません		・身体は熱いタオルで拭かせて頂きます	(希望時)	・手術した側の腕を挙げないでシャワー浴可能です ・手術した部分は濡れても良いです(必要時看護師が介助します)	・傷口は、石けんを泡立てて優しく洗い流し、清潔にしてください
食事	・夕食まで食事できます ・21時より飲んだり、食べたりできません	・飲んだり、食べたりできません	・許可が出るまで飲食しないで下さい ・腸の動きの様子で水分より開始し、食事が食べられる様になります				
内服	・現在飲んでいる薬は全てお持ち下さい ・変更のある場合には説明します 内服(続行・中止)→	内服薬の再開、変更(ある・なし)	・午前中に医師の診察があります ・管の袋に溜まっている排液は1日1回(10時頃)に看護師が破棄します				
注射		・()時から点滴を行います	・抗生剤の点滴があります		・様子で点滴終了		
処置・看護	・位置によっては毛を剃ります	・入れ歯、アクセサリ類、時計、眼鏡、シップなどは外して下さい	・傷口から血液が溜まらないようにするための長い管が入ります ※大切な管ですので引っ張ったりして抜いてしまわないように注意してください			・様子で傷口の管が抜けます	・傷口の管が抜け、皮下に血液の貯留が無いことを確認できたら、退院となります
			・手術後は全身の状態を見るために心電図、血圧、酸素濃度を測る機械が装着されます また足にはマッサージポンプが装着されます	・機械類が外れます			
			・手術後は酸素吸入をして、様子で外れます ・痛みがあるときは痛み止めの薬を使用することができます				
説明	・病棟看護師から入院生活の説明があります ・入院後麻酔科医より説明があります(病棟に連絡が来たら手術室に看護師がご案内します) ・手術室の看護師の訪問があります ※不安な事があれば看護師にご相談下さい	・手術中、ご家族は手術室前の家族控室にてお待ち下さい(手術室に入るときにご案内します)	・手術の結果は術後または後日、医師より説明があります ・病理結果は、術後約1週間で出ます ・何かありましたら看護師を呼んで下さい				・退院後の生活について説明します